

# 2024年度大阪府訪問看護実践研修 教育ステーション事業 実践報告

---

北河内ブロック

関医訪問看護ステーション・滝井 寺口 めぐみ

# 1, 目標

---

- 1) 多職種向けのACP研修を成功させ、地域での定着を促進する
- 2) バイタルサインの基本を再確認し、急変につながる異常を知り、利用者の安全、訪問者の心理的安全を確保する
- 3) コンサルテーション事業の周知と活用数を増やす

# 2, 実践内容

## (1) 研修事業

### ① ACP支援実践人材育成研修

開催日: 2024年7月27日(土) 13:30～17:00

場所: 関西科大学 学生食堂

参加人数31名(訪問・病院・施設勤務看護師、ケアマネージャー、介護士、看護学生)

アンケート結果

「人生会議(ACP)研修」の受講前後で、人生会議(ACP)のイメージは変わりましたか。

➡変わった 87%

今後、「人生会議(ACP)」を実践しようと思いますか ➡思う 100%

今後も「人生会議(ACP)」について、研修を受講したいと思いますか。➡受講したい 97%

本日研修を受けて、「人生会議(ACP)」の実践の自信はつきましたか➡自身がついた 52%



# (1) 研修事業

## ② 腹膜透析研修会(集合研修)

開催日: 2024年12月20日

テーマ: これを知られば怖くない! 腹膜透析 体験型勉強会

講師: おく内科・在宅クリニック 辻本 康

場所: 関西医科大学総合医療センター 南館2階臨床講堂

参加人数: 21名(訪問・病院看護師、医師)

アンケート結果

研修の内容は期待通りでしたか⇒期待通り 100%

研修内容は今後の業務に活用できますか⇒活用できる 100%

自由回答: 腹膜透析に対するハードルが下がりました。事例を通して  
実際の訪問看護師の関わり方も勉強になりました。



## (2) 府民への相談支援事業

市民祭りでのチラシ配布を予定していたが実践できず

## (3) 訪問看護体験研修事業

目標：看護業務：5回

管理業務：1回

としていたが対象者なしであった

## (4) 電話FAX相談Q&A事業

---

受付: 営業日 月～金 9:00～17:00、第1, 3, 5土 9:00～13:00

受付方法: 電話、FAX

目標回数: 25回

実績回数: 21回

相談内容: 診療報酬改定項目、契約書・重要事項説明書の書き方、加算について  
利用者の負担(請求)についてなど

参考文献: 訪問看護実務相談Q&A

訪問看護師のための診療報酬&介護報酬のしくみと基本 メディカ出版

介護事業開業サポートセンターHP、一般社団法人 全国訪問看護事業協会HP Q&A集

(5)コンサルテーション事業

電話サポート、対面サポート

目標：各5回 未達成

3、協力ステーション数：7事業所

## 4, 目標の評価

---

1) 多職種向けのACP研修を成功させ、地域での定着を促進する

➡目標参加数を達成できなかった。開催通知の時期の遅れが原因である。研修参加者の満足度は高く、アンケートの結果からも実施したいと回答得られた。

2) バイタルサインの基本を再確認し、急変につながる異常を知り、利用者の安全、訪問者の心理的安全を確保する

➡講師依頼の関係上、テーマ、開催方法が変更となった。困難と感じる腹膜透析をテーマに、実際に機器類にも触れてもらう体験型とすることで、腹膜透析を身近に感じてもらうことが出来た。開催方法を変更した時点で、参加者数の検討が必要であった。

3) コンサルテーション事業の周知と活用数を増やす

➡募集や声掛けが足りず目標達成とならなかった。

## 5, 事業全体の効果と次年度の課題

---

相談事業では、開設したばかりの事業所から、繰り返し質問があり、相談できる場所があるという事は、地域の訪問看護にとっても安心につながる。また担当した自分自身も様々な文献等を用い調べ、回答することで知識の向上に繋がった。研修事業では、効果的な研修の開催方法や参加人数の調整など、効果的に開催することの難しさを感じた。次年度も継続して、教育ステーションを担当するにあたり、地域の協カステーションに積極的に働きかけ、目標達成することが課題と考える。